



～ 実力テスト講評 ～

第 3 回実力テストの講評です。力を発揮できましたか？

それぞれの教科からのコメントを参考に、今後活かしていきましょう。

コメントは実施順に掲載しています。

< 社会 >

身につけた「基本」をもとに、**想像力**をはたらかせて問題を解く楽しみを味わっていきましょう。

返却時の解説と解き方のヒントを参考にしてください。問題演習にとりくみながら、さまざまな視点から柔軟に考えつつ、テーマのなかで何を問われているか、その核心をとらえる「**発見のよろこび**」につながる学びに、あなたたちは、確かに前進していくときを迎えています。

そんな意識を高めて、一生懸命努力した自分に対して自信をつけてほしいものです。

中途半端に問題集を渡り歩くと、結局不安を呼ぶことになります。怖がらずに行動しましょうね。そのためには、1 冊を完璧に自分のものにする、そのような粘りと負けん気をもって元気にとりくみましょう。

< 国語 >

登場人物の心情を含む行動に注目し、根拠を持って解答できるようにしましょう。消去法も用い、正しい選択肢を残そう。記述式の「指定語句」をとりこぼさないように注意。「解答欄に続く形」も意識しましょう。繰り返にならないように。古文では便覧を用い、古語なども覚えましょう。主語・助詞を補いながら自分で読むくせをつけましょう。文法は細かいところの復習をおこたらずに。敬語の理解が不十分でした。復習をしましょう。漢字・語彙に関しても、漢字レッスンや便覧を使った復習をおすすめします。

第四回実力テストでは、公立高校入試にむけて作文を出題する予定です。漢字や誤字脱字、文字の丁寧さには十分に注意しましょう。

< 数学 >

どのテストでもそうですが、テスト中はできる問題を確実に解きましょう。そして、できる問題を増やすためには、くり返しくり返し問題を解くことが大切です。答えや解説を見て“なぜそうなるのか”を考えながら解いて、何も見なくても解けるまでくり返し練習しましょう。

さて、今回のテストについてですが、テスト中の問題の取捨選択はばっちりでした。できる問題を確実に解くことができていました。しかし、これまでの取り組み（練習量）で差が出てきたように感じました。数学は練習量が必要です。他教科とのバランスもありますが、たくさん練習してください。おすすめは複数の問題集を一度ずつ解くのではなく、一冊の問題集を完璧にできるまで（何も見ずに解けるまで）やりこむことです。問題集は、解説を見て理解できるものを選ぶとよいでしょう。

まだ時間はあります。余裕はないですが、最後までがんばろう。

< 英語 >

リスニングはよくできていました。テスト返却時の授業で、間違いが多かった問題（主に英文法）の解説を行いました。自分が誤って認識していた単語や文法の用法は、自学ノートを使って覚え直しの作業をして下さい。英語の点数を上げるのに近道はありません。「3 年間の総まとめ問題集」を使って英語のルール、単語のつづり、英文をつくる練習、読む練習、ひとつずつ積み重ねましょう。そして自分が間違った問題の解き直しを必ず複数回行い、今回のテストも最低でも 2 回は解き直しをしましょう。第 4 回目のテストに向けて計画的に学習を進めましょう。We believe in you!

< 理科 >

地学・生物分野での失点が多かったように感じます。「植物の根・茎・葉のつくりのようす」、「体のつくり」、「気団の特徴と気圧配置」など覚えたら解答できる問題は確実に定着させておきましょう。

化学分野は化学式・化学反応式をまずは覚えておきましょう。そして物理分野は基本の語句は確実に答えられるようにしておいてください。「3 年間の総復習 理科のまとめ問題集」を解くなどして、まんべんなく復習しておきましょう。